

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 恵那特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年1月31日(金) 9:30~11:30
- 3 開催場所 知新会館(恵那特別支援学校隣接)
- 4 参加者
会長 市岡 知訓 当校PTA会長 <欠席>
副会長 渡邊 康正 明知鉄道株式会社(代表取締役 専務)
加藤 愛子 地域住民(岩村城女太鼓代表)
齋藤 寿久 日中一時支援事業 りんごクラブ(管理者)
鈴村 由香 障害者地域支援センター 結
長谷川則子 かがやきキッズクラブ(理事長 施設管理者)

学校側	三島 祥江	校長
	渡辺 敏昭	事務部長
	保 義博	教頭
	久保 恭子	小学部主事
	後藤 正樹	中学部主事
	片山 麻紀	高等部主事
	野村恵美子	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和6年度の取組の成果と課題について

※各学部からの報告:第2回運営協議会で意見を受けて

ア 地域の施設や人材を活用する。

→岩村町の行事に参加(岩村町民展に作品展示、いわむら城下町ひなまつり参加、岩村町の体験プログラムいわむら五っこ:染め出し体験、老人介護施設での交流等)

イ 生活力(買い物、公共交通機関の利用等)の向上や進路指導の充実を図る。

→明知鉄道やコミュニティーバスを利用したり、徒歩で行ける岩村町内の商店やコンビニエンスストアで買い物学習をしたりした。

(2) 学校見学

意見1:子どもたちが一生懸命取り組んでいる様子が見られた。

意見2:先生たちが児童生徒それぞれに合った授業を行い内容も工夫されていた。

(3) グループ協議(協議テーマ:令和6年度の取組の成果と課題について)

<1グループ>

意見1:来年度完成予定の「佐藤一斎学びの広場」には、図書館やフリースペースができるので活用してほしい。

意見2:岩村町内を歩いたり、施設を活用したりすることが、恵那特別支援学校の子どもたちのことを知ってもらうことにつながっている。

意見3：岩村町にいろいろな団体があるので、学校に来てもらって知ってもらうことも大事なことである。

意見4：保護者が地域で困ったときに支援を求められるように、主任児童委員や民生委員と繋げていきたい。

<2グループ>

意見1：事業所と学校の連携の場として、サービス担当者会議があるので、今後も活用していきたい。

意見2：卒業後を見据え、教師と一対一での活動から、徐々に支援を外していくことが必要ではないか。子どもたちが困り感を感じて自ら支援を求める力を付けることも大切である。

意見3：保護者が就労への不安を感じないようPTAと連携を図りながら、情報を知らせていきたい。『先輩お母さんの話しを聞く会』など、座談会形式の会をもつ取組も良いのではないか。

<3グループ>

意見1：卒業後に向けて、困ったときに助けを求める力等、コミュニケーション力を付けていくことが大切である。

意見2：地域の方から直接意見を聞く体験も大切だと感じた。

意見3：今学習していることが、どのように卒業後の生活につながるのか、子どもたちが分かるように伝えていくことが大切である。

6 会議のまとめ

- ・今年度の各学部の取組状況や次年度の方向性について理解を得られた。
- ・協議委員から、協力できることや一緒に実施することについて、具体的な提案をしていただいた。
- ・岩村町内の地域資源や人材の活用を更に推進していく。
 - 令和7年度「佐藤一斎学びの広場」がオープンするので、現在も行っている恵那市図書館の活用を継続して行いたい。また、生徒が清掃やボランティア活動を行う場としても利用したい
 - 今年度、岩村町や中津川市の民生委員・主任児童委員の方対象に学校見学を実施した。更に地域の方が学校に来ていただけるよう呼びかけをする。
- ・卒業後の生活を具体的にイメージし、地域で活動していく中で生活経験の拡大を図る。
 - 小学部、中学部、高等部が系統制をもって、地域の様々な施設を利用しながら地域の人との交流を深めるとともに地域のことを知る学習に取り組む。